

核兵器のない平和で公正な世界のために 原水爆禁止2015年世界大会

広島と長崎に原爆が投下されてから今年で70年になります。毎年、世界大会へ代表を送り出していますが、今年は見須友海さん（小学5年生）と矢沢茂子さん（城南ドルフィン）の2人が、長崎大会に参加しました。

原水爆禁止世界大会

長崎に参加して

今回初めて品川代表団として城南ドルフィンよりの見須友海さんと一緒に原水爆禁止世界大会ー長崎に参加してきました。

城南福祉医療協会の新理事長に 千田宏司医師が就任

たわり抗議の表明をする示威行為をする。1960年代に核軍備に反対して米国の市民グループがはじめた）では、原爆の炎と照り

つける太陽の中で死んでいい、人びとのことを実感させられ、した。ここに集つた子どもたちの、

自分の意見を持つ姿を頗もじく思
い、またさらに体験と思いをつなげていく大きさを感じま
した。

安倍首相のお面を付けて出しました。実行委員会で用意した料理をほろほろ、楽しんでいました。8月25日火には、原水禁世界大会の報告会を三ツ木診療所で行います。

大田病院でも7月28日火に、病院前の駐車場で反核フェスティバルが開催されました。

2日目は『少年少女平和のつどい』に参加しました。全国から集まつた100人の子どもたち、被爆遺構を歩き、すいとんち、被爆体験を聞きました。

「平和のつどい」被爆について学ぶ
介と派遣資金でいたなどのために、毎年、反核フェスティバルを開催しています。今年も三木診療所の屋上で、7月21日に行いました。



物を世職部(火)ツルめ
されました。その後、三ツ木歯科職員による南京玉すだれや三ツ木グループを中心とする職員が、安倍首相のお面を着けた出し物を披露。安倍首相によく似たお面でみんな拍手喝采。
最後は、みんなで品川音頭など踊ってお開きに。参加者たちは、ビールでのどをうるおし、

反核フェスティバル

第8回「大田くらしのなんでも相談会」のお知らせ
法律・生活・労働・医療などどんな相談でも受けられます。
この相談会は2カ月に1回、第3水曜日に定例で行っています。